

特集

超音波検査の今と 助産師のかかわり方

助産師は、妊婦に直接触れるフィジカルアセスメントにより経過を把握し出産へと導いていく専門職ですが、近年は胎児の状態を観察できる医療検査機器も普及しています。なかでも超音波検査は、医師による診察だけでなく助産師外来等でも用いられることが増えており、欧米と比較して日本の超音波検査の回数は突出して多いとの指摘もあります。今回の特集では、超音波検査について押さえておきたい知識を整理し、日本における実施状況を俯瞰で見るとともに、医師の視点・助産師の視点を共有し、超音波検査について改めて考えられればと思います。

